



南小学校4年生を対象に環境学習の出前授業が行われました。ペットボトルとティッシュ箱を使ったごみの分別やごみの排出量クイズ、パッカー車へのごみの投げ込み体験などを行い、ごみの処理法や、リサイクルの必要性について学びました。

6/17

環境管理課による環境学習
ごみについての出前授業



Daigasグループから、児童書が寄贈されました。これは、同グループが行っている企業ボランティア活動「Daigasグループ“小さな灯”運動」の一環によるものです。寄贈されたものは、図書館で貸出しています。

7/2

Daigasグループからの寄贈
児童書の寄贈



令和9年度運用開始予定の学校給食センター新築工事の着手にあたり、起工式が開催されました。現在各小学校（園）では自校方式により学校給食を提供していますが、センターを設置することで、より多くの食材でのアレルギー対応と町内産米100%使用の炊飯が可能となります。

7/6

学校給食センター起工式
安全安心な給食に向けて



川瀬杏楓さん（北小学校6年）
第7回わんぱく相撲女子全国大会出場

6/16～

表敬訪問
全国大会への出場を報告



白檀南 BVC
・藤岡倅生さん（左から2人目・田原本中学校3年）
・富井健太さん（左から4人目・田原本中学校3年）
HEKINAN マンモスカップ JVA 第6回全日本ビーチバレーボール U15 選手権大会出場
・前田麗菜さん（左から3人目・田原本中学校3年）
HEKINAN マンモスカップ JVA 第6回全日本ビーチバレーボール U15 選手権大会出場
湘南藤沢カップ JVA 第17回全日本ビーチバレーボール U15 選手権大会出場



・松川恵宥さん（左から2人目）
国民スポーツ大会公開競技（男子の部）出場
ねんりんピック彩の国さいたま出場
・月岡麗子さん（左から3人目）
国民スポーツ大会公開競技（女子の部）出場
・松川節子さん（左から4人目）
国民スポーツ大会公開競技（女子の部）出場
全国レディス交歓大会出場
・木下薫さん（左から5人目）
ねんりんピック彩の国さいたま出場

全国大会への出場を報告するため、さまざまな分野で活躍される人が高江町長らを表敬訪問されました。大会へ臨む選手に、町長から激励の言葉がかけられました。

町長 メッセージ

Vol.27



町長活動記録

子育ては社会で！ともに！

子どもを育てることは、個々の御家庭の営みであると同時に、地域社会の未来を育てることでもあります。子どもたちはやがて地域を支え、社会を支えてくれる存在であり、その成長は我々一人ひとりにとって大きな財産です。故に、子育てに伴う教育や保育などの負担をそれぞれの御家庭のみで負うのではなく、社会全体で分かち合うことが不可欠です。

行政においては「こども^{まるごと}GoToプロジェクト」を立ち上げ、こども家庭センターを設置し相談体制を抜本的に強化するとともに、各種の経済支援のほか、産後ケアなどライフステージに応じた支援を拡充してまいりました。今年度においては新たに、小学校給食費の無償化のほか、6月にオープンした「こども誰でも通園保育所（北幼稚園内）」や今秋オープン予定の新たな保育園を通じた保育環境の充実、若者世代の居場所であり必要であれば支援に繋ぐユーススペースの実証

などを進めるとともに、2学期からは中学校給食費の無償化にも取り組むなど、社会で子どもを育てる取組を加速してまいります（詳細は2～3ページ）。

なお、申し上げるまでもなく行政としての取組のみでは不十分です。学校の登下校をお支えいただいている見守り隊の活動やユーススペースにおける有志の活動、子ども食堂の開催など、地域内外の皆様のそれぞれの立場での実践が、田原本の子どもを健やかに育ててくれています。

これからも田原本の未来そのものである子どもたちを、地域全体で育てていく温かな地域であり続けられるよう、引き続きのお力添えをよろしくお願いいたします。

もとより、子どもという存在を社会発展の道具として捉えるということではなく、大前提として我々は、子どもたち個人の最大幸福を願い、応援していかなければならないと考えています。

最新の町行政情報をお届け

町政トピックス

住民協議会提案書手交式を実施



現在「田原本町第5次総合計画」の策定を進めています。このたび、本計画の柱となる住民参画の取り組みとして実施してきた「住民協議会」（全4回）の成果をまとめた「提案書」が完成し、6月22日に町長会議室にて手交式を執行了しました。

本協議会は、住民基本台帳から無作為抽出された13歳から80歳代までの幅広い年代の住民が3つの分科会に分かれ、対話を重ねてまいりました。手交式では、委員代表の鈴木西治様から高江町長へ提案書が手渡されました。

セブン・イレブン・ジャパンと

フードドライブに関する連携協定を締結



6月19日、町社会福祉協議会と共に「フードドライブに関する連携協定」を(株)セブン・イレブン・ジャパンと締結いたしました。

これにより、町内セブン・イレブン全店舗（5店舗）に回収ボックスを設置し、住民の皆さんから寄贈された食品などを、町社会福祉協議会を通じて町内の支援を必要とする人たちへお届けします。

身近なコンビニを拠点とすることで、誰もが無理なく参加できる、持続可能な地域支え合いの仕組みがスタートします。